



茅ヶ崎タンブー

夏休みに入ると、午後からちがさきA・UNの屋上プールをお借りして活動しています。プールをお借りして今年で3年目になりますが、毎年子どもたちはプールに入るのを楽しみにしています。

今年は例年に比べ、雨や涼しい日が多く、あまりプールに入ることが出来ませんでした。その分プールに入れる日は、いつも以上に子どもたちの楽しそうな声が聞こえてきました。

子ども用のプールなのでそれほど大きくはありませんが、水をかけあったり、水の中に潜ったり、屋上の広いスペースで追いかけてをしたり、子どもたちがそれぞれの遊び方で楽しんでいます。

夏休みが終わると、子どもたちも職員も日焼けした様子が恒例になっています。来年の夏もプールで賑わう子どもたちの姿が見られるのを楽しみにしたいと思います。



タンブーとは「放課後等デイサービス」です。

タンブー
夏休みの活動
2017



子どもたちが考え製作したお化け屋敷を夏のイベントとして開催しました。中心になって製作した子どもたちは今年の4月に入ってからすぐに「お化け屋敷をどうするか」という話し合いを職員や他の子どもたちと一緒に検討し、作り上げてきました。

福祉活動センターの大会議室をお借りして、寒川タンブーの子どもたちだけでなく、茅ヶ崎タンブーの子どもたちや職員などを呼んで、暑い日に涼しさを追求したイベントとなりました。

製作から関わった子どもたちは自らお化けの格好に扮して、屋敷に入ってくるお客さんを驚かしたり会場を案内したりと積極的

に取り組んでいました。このイベントは子どもたちが最初から関わって自分達で作り上げ、皆に楽しさを提供しようという考えがとても素敵なことだなあと感じます。そのような経験がいずれ自分達の自信や社会スキルの向上に繋がっていくのかもしれないと感じました。

来年の夏はさらにバージョンアップしたお化け屋敷が見られるかもしれません。それを楽しみにしたいと思います。

寒川タンブー

たくさんのお客様に来ていただき
大盛況の夏まつりとなりました！



ちがさき A・UN は特別養護老人ホーム（ゆるり）、生活介護事業（おーらい）、保育園（うーたん）、児童発達支援センター（うーたん）、就労継続支援 A 型事業（夢たい）が一緒になっている複合施設です。



ちがさき A・UN

5周年 夏まつり



ちがさき A・UN は 2017 年 7 月に
おかげさまで 5 歳のお誕生日を迎えました。

この5年間、地域の皆様に見守られ育てられてきたことへの感謝をこめて、例年行なっている夏祭りを「ちがさき A・UN 5周年記念夏まつり」として8月26日（土）に開催しました。

今回は近隣の皆様にもたくさんお越しいただくため、夏まつりまでの1週間、「A・UN マルシェ」として正面玄関でおーらいご利用の方、児童発達支援センターうーたん、うーたん保育園の子どもたちと職員で地場野菜の販売をしました。可愛い子どもたちの呼び声につられて、近隣の方たちが連日、野菜を購入して下さり、夏まつりにもお越しいただきました。

夏まつりの準備は毎年、全館の職員で協力して行いますが、今回はいったい何人のお客様が来られるのか見当が付きません。ワクワクしながら当日を迎えると、なんと500名超のお客様に来ていただきました。食べ物コーナー、ゲームコーナー、翔の会事業所の販売ブース、どこもかしこも大盛況で職員は笑顔ながらも大忙しでした。夏まつりの最後は職員と子どもたちの「ソーラン節」と、保育園の保護者と A・UN 職員で結成したオヤジバンドのライブ。観客と一体となったの大盛り上がりで夏まつりを締めくくりました。

ちがさき A・UN はこれからも成長していきます。

末永く見守っていただければ、と思います。



ちがさき A・UN

利用者アンケート

Q.1 ちがさき A・UN を利用して
良かったことは？

Q.2 今後のちがさき A・UN に
期待することは？

C.I さん ■ カフェあうん・うーたん 利用

A.1 障がい者の方と触れ合う機会が多い。空間を共有することで子どもの頃から障がい者への偏見を軽減させられると思います。

A.2 障がい者や高齢者が働ける場を提供し続けてもらいたい。認知症の方のレストランのようにいろいろな人が地域で活躍できる場を作ってもらえると良いですね。

H.M さん ■ ゆるり家族・カフェあうん 利用

A.1 今は母の「家」となっていることに感謝し、スタッフの皆さんに助けて頂きながら母との時間を大切にしていきたいと思っています。

A.2 初めて見学した時、スタッフ・利用者皆さんの挨拶と一生懸命に掃除をしている姿を見てとても温かい気持ちになりました。ずっと温かく優しい玄関の一步であって欲しい。

S.I さん ■ カフェあうん 利用

A.1 近所の方が入所しているから気楽に顔を見に来られる。

A.2 近所にあることを知らない人が多い。5周年まつりのように他のイベントも回覧板などで分かるようにしてもらえると、より身近に感じられる。



ちがさき A・UN

のこれから



多くの方々に支えられ、「ちがさき A・UN」が5周年を迎えることが出来ました。心から感謝を申し上げます。ちがさき A・UN がある今宿バス停に近づく、「住み慣れた地域でのご入居のご相談はゆるりまで」という案内が流れます。翔の会の理念である、「誰もが地域で暮らせる為に」と通じる言葉です。昨年度より、夏祭りへのご招待、お餅の振る舞い、焼き芋販売、野菜販売などを通して、一步一步地域の皆さんと試行錯誤しながら関わらせてもらいました。一方で、交流に子ども達が加わってくれたことで可能性が大きく広がりました。子ども達が輝く姿に、やはり人と人の関わりの中で人は成長していくのかなと感じました。子どもからお年寄りまで、障がいのあるなしに関わらず、その方の持っている力や魅力を支え、地域の皆さんに教えてもらいながら「ちがさき A・UN」が地域の居場所となるよう、これからもご協力をお願いいたします。

こんな方に
支えられています

特別養護老人ホームゆるりのボランティアグループ

七色とうがらし

のみなさん



メンバー14名、誰一人欠ける事無く来てくださり今年12月で丸5年になります。月4回の歌と体操だけではなく、イベント時には入居者の誘導を手伝っていただくことで、入居者の生活を支えていただいています。

K.T さん ■ ゆるり入居者

A.1 家族のない私を「ゆるり」の皆様と楽しく生活させて頂き本当に感謝しております。

A.2 入居者同士の交流の場が欲しい。家族のように何でも話が出来て悩みも喜びも共に味わえるように話をする機会が出来ると良いですね。

I さん ■ ゆるり職員・うーたん 利用

A.1 保育園児と高齢者との交流がある。祭りやマルシェといった地域との交流が多い。

A.2 花火大会の時に屋上を開放して園児・入居者・家族と一緒に鑑賞できると良いですね。

2017 第4回
空と海

納涼祭

笑顔満祭

～みんなの笑顔でつながろう～

2017年9月8日(金)、第4回 空と海納涼祭が行なわれました。今年度のテーマは「笑顔(えがお)満祭(まんさい)～みんなの笑顔でつながろう～」です。今回の納涼祭の見せ場は、入道雲・水平線合作のお神輿。それぞれで作り皆で担ぎました。両施設、個性があり素晴らしいお神輿でした。

ステージではヒイレイナ マヌ ナプア ハラオ 茅ヶ崎さんのフラダンス・しろやま太鼓の和太鼓・ミュージックオブマインドさんの演奏があり、利用者と職員も普段なかなか見ることができない、素晴らしいパフォーマンスに大変盛り上がりました。

屋台では焼きそば、フランクフルト、から揚げ、たこ焼き等が販売され出来たてホヤホヤを自分たちで好きなものを選んで購入し、皆さん美味しそうに召し上がっていました。また、射的やクレーンゲーム、輪投げで景品をゲットし部屋に飾っている利用者もいて、思い出が残った納涼祭になっていました。

途中、雨が降ってしまい盆踊りは室内となりました。屋外より狭かったのですが、皆さんの協力もあり上手く円を作ることができ、踊りの先生を見ながら楽しく踊ることが出来ました。

夜の花火は昨年度同様に花火師さんに依頼し、リズムカルな噴射花火やナイアガラ花火は圧巻の迫力で、歓声があがっていました。プロの技を目の前で見ることが出来、夏を納めることが出来ました。

今回は近隣の方にご案内を出しました。平日の日中の時間にも関わらず何組か来ていただけることが出来ました。

来年度も参加者全員が喜び、盛り上がる納涼祭を目指して皆で頑張っており組みたいと思います。



納涼祭 インタビュー (水平線&入道雲)

水平線利用者 Iさん

- Q 今年の納涼祭はどうでしたか？
A よかったよ！
Q 何がよかったですか？
A ゲーム！
Q 何を食べましたか？
A たこ焼きやフランクフルトを食べました。美味しかった！

水平線利用者 Hさん

- Q 今年の納涼祭はどうでしたか？
A 去年より迫力も活気もあったし良かったね。
Q 特にどんなところが良かったですか？
A ゲームかな。全部クリアしたよ！
Q 今年のステージ発表はどうですか？
A フラダンスが良かった！

入道雲利用者 Nさん

- Q 今年の納涼祭は楽しかったですか？
A うん！
Q 美味しいものは食べられましたか？
A 甘い食べたの。
Q この中だとどれが一番美味しかったですか？(写真を提示しながら)
A (笑顔でたい焼きの写真を指差される)

入道雲利用者 Kさん

- Q 納涼祭どうでしたか？
A いっぱい食べて買って大満足！
Q 何が一番楽しかったですか？
A 射的！全部倒しちゃった！
Q 今年の花火はどうでしたか？
A 楽しかったけど大きくてちょっとビックリした！



Ocean's Love 主催

サーフィン体験

参加しました!



サーフィン体験に利用者男性3名・女性1名、職員、男性1名・女性1名で参加してきました。

利用者全員がサーフィン初体験!!皆さん「いったい何をするのだろう?」といったような表情で、少し不安そうにしていた。

初めはおっかなびっくりでしたが、周りのOcean's Loveのスタッフの声掛けに、だんだん笑顔になっていきました。サーフィン前の準備体操が終わる頃には、初めの不安な表情が嘘のように笑顔に変わっていました。

職員が進めなくても、自ら進んでサーフィンに取り組む姿は印象的でした。中にはボードの上に立つことが出来た方もいて、職員も驚かされました。

体験は1時間という短い時間ではありましたが、職員としても初めて見る利用者の一面もあり、とても有意義な時間となりました。



翔の会

介護技術基礎研修

9月17日(日)
介護技術基礎研修が行われました。

翔の会では、利用者に対してより良い支援ができるよう、翔の会の理学療法士が年2回、新入職員や希望職員を対象に基本的な介護技術の研修を実施しています。

研修では、基本動作と移動の介助方法を中心に学びました。基本動作とは、寝返り・起き上がり・立ち上がり、といった動作です。歩行や車椅子での移動と合わせて、日常生活活動(食事・排泄・入浴・整容・更衣)をつなぐ大切な動きになります。

参加者はお互いに介助する側・される側を体験します。一度の研修で伝えられることはわずかですが、その基本的な知識や技術をベースにして研鑽を積み、「自分が受けた介護」ができる職員に育てて欲しいと思います。

若手育成プログラム

人財育成の一環として若手の職員に対し次のような取り組みを行っています。

翔の会では、人財育成の一環として若手の職員に対し次のような取り組みを行っています。

職員が自ら考えた内容で1日好きな仕事ができる(内外の施設を見学する等も含む)「ワンデイ・フリーパス」や、業務に直接に関係の無いものも含め、自ら希望するイベント・試みを企画・実行していく「イベントプロデュース」を実施しています。

今回はその内容を紹介させていただきます。

翔の会

一日厨房研修報告

入道雲 庄子 将太

ワンデイパスポートを活用して空と海の厨房の仕事を体験しました。ここでは100食以上の利用者や職員の食事を1日3回提供しています。また、普通食、ベースト食や刻み食など食べる人に合わせて様々な形態で提供しています。

厨房業務は5時から朝食作りが始まり、7時頃から盛り付けと配膳、食事が終わるとすぐに洗いや昼食の準備が始まります。まず感じたのは衛生管理が徹底されている事です。前掛けをして、帽子を被り、消毒をして、手袋を付けました。マスクを栄養士に着けてもらい、改めて緊張感やプロ意識を感じ身が引き締まりました。栄養士に同行し、食事作りや盛り付け、清掃等の業務を体験したことで、普段何気なく食べている食事がどのように作られているのかが分かり、より一層ありがたみを感じました。また、調味料を加える順番で味が変わってしまうことに料理の奥深さを感じました。

昼食が終わるとすぐに夕食の準備となります。体力的にはもちろん、気を配ることが多く精神的にもハードな一日でしたが、厨房の仕事を肌で感じられる貴重な体験となりました。

3.12

チャリ部報告

いずみ 山上 恭平

ちがさき A・UN ~ 小田原駅周辺 (走行距離 46.6km)

09:00	ちがさき A・UN 集合 簡単な打ち合わせの後サイクリング開始
10:40	小田原の海鮮料理店「サカナキューズ・リョウ」到着 開店まで周辺散策後、昼食
12:30	サカナキューズ・リョウ出発
14:20	ちがさき A・UN 到着

初企画で少し緊張していたものの、事故もなく無事に帰ることが出来てほっとしています。サイクリング中は減速、一時停止、方向伝達に最も気を使いました。今後は、もう少し短い距離で、車種も広げて募集する予定です。秋冬はサイクリングに適した季節なのでまた企画したいと思います。

「週末の夏まつり」として3月26日(土)に開催しました。

今回は近隣の皆様にもたくさんお越しいただくため、夏まつりまでの1週間、「A・UN マルシェ」として正面玄関でおーらい利用の「児童発達支援センター」や、うーたん保育園の子どもたちと職員で地場野菜の販売をしました。可愛い子どもたちが連日、野菜を購入して下さり、夏まつりにもお越しいただきました。

表現展



ちがさき A・UN はこれからも成長していきます。絵やタコなど水の生き物をモチーフにした作品が並びました。未永く見守っていただければ、と思います。風鈴作りのワークショップも好評でした。お子さんも二年間の方まで夢中になっていました。



後援会より

トネリコ展覧会
2018.1.27 - 31
イベントスタジオ
リベンデル

翔の会后援会とは？

『誰もが地域で暮らせるために』の理念のもと、幅広い事業展開をしている「社会福祉法人翔の会」の活動を支援するために生まれました。後援会では、この主旨に賛同頂ける多くの方々が集い、イベントやバザーに参加して収益活動をしています。施設でのボランティア活動の活性にも努めています。



トネリコのだいしゅうごう

アートを通して自己表現する場所、それが Studio トネリコ（生活介護）です。開設7年目にして、念願のトネリコメンバーの作品だけで創る展覧会の開催が決定しました!!

ユニークな絵画や立体作品、これどう使うんだ!? 考えるんじゃない、感じとる、ビックリ陶器など個性満載のアート会場をつくります。お気軽に遊びに来てください!

場所：イベントスタジオ リベンデル（茅ヶ崎市矢畑 183）

開催期間：2018年1月27日（土）～31日（水）

会員になるには？

入会申込書に記入して会費の納入をお願いします。

「空と海」（茅ヶ崎市芹沢 786）の後援会事務担当者に直接渡していただくが、郵便口座（00220-2-75228）へ払い込み下さい。

個人会員	（年額）	1口 3,000円	1口以上
法人会員	（年額）	1口 30,000円	1口以上
利用者本人会員	（年額）	1口 5,000円	1口以上
利用者家族会員	（年額）	1口 5,000円	1口以上

詳しくは
後援会事務局 「空と海」 海野まで

TEL 0467-54-5424

FAX 0467-54-5498

秋・冬 翔の会イベントカレンダー

11月18日（土）

いこいの里・萩園ケアセンター 自主上映企画「パーソナルソング」

12月1日（金）

らららライブ 寒川町民センター

12月9日（土）

キャンドルナイト 茅ヶ崎中央公園

12月10日（日）

地域セミナー 茅ヶ崎市役所分庁舎コミュニティホール

編集後記

今年からNEWS翔の編集に関わるようになり、年3回の発行に合わせて多くの人が多くの時間を費やしていることを知りました。昨年までは当たり前配られる社内報を何気なく読むだけで、中には目を通すことなく…なんてことも。「知ることの大切さ」。これは私たちの仕事にも通ずるものです。生活歴、趣味、食べ物

の好き嫌い、価値観等を知ること、その方の行動や発言も「なるほどね」と思えたりします。「相手の立場に立つ」。まずは自分自身が変わってみる。日頃出されている社内報に目を通し、書き手に思いを馳せてみる。うん、これなら出来るかもしれない。

(S.O)

発行責任者／社会福祉法人「翔の会」理事長・河内智恵子
〒253-0008 茅ヶ崎市芹沢 786 番地

【TEL】0467-54-5424(代) 【FAX】0467-54-5498 【URL】http://www.syonokai.jp